

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
 ゲイリー・C.K.ホアン  
 台湾台北



第1278回 例会 平成26年8月19日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 藤澤健二ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・地区会員増強委員長 佐藤賢司 様



■ 会長談話 小川秋實会長



ポリオプラスのポスターに写真が載っている人を紹介します。

緒方貞子氏は、国連難民高等弁務官を10年間務め、その間の業績は国際的に高く評価されています。最初に扱ったのは、クルド難民問題です。湾岸戦争直後、イラクでクルド人が弾圧され、多数の難民が生まれました。隣国トルコは受入れを拒否。難民が国境を越えなければ国連は関与できないという前例を緒方氏は打ち破り、世界中の難民高等弁務官事務所の職員を北イラクに集めて、多国籍軍と協力してイラク北部に難民キャンプを設営、食料・住居の支援をしました。

ユーゴスラビアの崩壊後、ボスニア・ヘルツェゴビナのムスリム人とセルビア人の内戦が起こり、ムスリム人は国内何か所に孤立。その一つサラエボでは40万人のムスリム人が孤立しました。緒方氏は国連に働きかけ、援助物資の空輸を始め、自ら防弾チョッキを着てサラエボ空港に降り立って空輸を指揮しました。NATO軍の空爆後、停戦となり、緒方氏は国外にいた難民120万人の帰還作業を担当しました。

ルワンダの民族抗争で隣国ザイールに流入した難民の数は100万人に達しました。緒方氏は自ら現地入りして実態把握、安保理に働きかけ、多国籍軍による治安維持をはかり、難民の帰還に尽力しました。

緒方氏が在任中に虐殺や飢餓から救いだした世界の難民は、何百万人という規模です。官僚的だった高等弁務官組織を、真に難民救済に当たることができる機動的な組織に生まれ返させました。アナン元国連事務総長は彼女に最大級の謝辞を送り、英エコノミスト誌は「最後の頼みの女性」とたたえ、ドイツの新聞は彼女の姿を一面に特集しました。世界に誇ることができる日本人の一人です。

ビル・ゲイツ氏は、マイクロソフト社の創業者で、パソコンの基本ソフト・ウインドウズの開発者です。アメリカの長者番付で20年連続首位になっています。2000年に現役を引退し、世界最大の慈善基金団体「ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団」（基金約3兆8000億円）を創設しました。ポリオやエイズなどの対策や発展途上国の開発援助、アメリカの教育の支援に多額の寄付を続けています。

## ■ ニコニコボックス

- ◆佐藤賢司様 会員増強のためのお話をさせていただきます。
  - ◆小川秋實 地区会員増強委員長 佐藤賢司さんのご来訪を歓迎いたします。会員増強のヒントをいただけることを期待しています。
  - ◆矢島宏 本日は地区会員増強委員長 佐藤賢司様をお迎えして、クラブフォーラム「会員増強」についてお話をいただき、当クラブの会員増強の指針にしたいと思います。佐藤さんに感謝します。
  - ◆伊澤和男 本日は佐藤様、卓話ありがとうございます。お世話になります。
  - ◆兼子展世 久しぶりです。東京のお盆・田舎のお盆、ようやく済みました。疲労困憊。今日もまた大阪より来客との報を受けUターンします。あしからず。
  - ◆中川博夫 甲子園、北信越4校が3回戦へ。残るは佐久長聖。今試合中ですが長聖も続け。
  - ◆事務局・武井 ケーブルニュースを見てアオギリを見たいという家族と一緒に、先日高尾公園へ行ってきました。そこで偶然ドウダンツツジを植えてアオギリ周辺の環境整備を下さっている矢野会員ご夫妻にお会いしました。お二人の暖かい愛情をたっぷり受けすすくと育っている、アオギリもバラもツツジも・・・アオギリの丘の住人たちは皆とても幸せそうでした。
- (発表 伊藤幸明委員長)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告



### ・伊那西高校東北視察研修について 矢野昌史青少年奉仕委員長

伊那西高校では創立30周年記念ということで東北視察研修を企画し、8月1日～4日の日程で研修を終え、8月6日にその報告を受けました。当クラブへ報告に来られたのは伊那西インターアクトクラブ顧問の伊藤先生と宗先生、会長、生徒会長他2名の合計6名でした。当クラブでは会長、幹事、下井副委員長、矢野の4名で対応しました。視察研修報告の内容については、9月2日(火)の例会にてインターアクトクラブの生徒より報告を予定しています。



### ・親睦活動・家族委員会より 伊澤和男親睦活動・家族副委員長

先日、委員会を開催し年間の事業について活発に話し合いが行われました。1年間ご協力をよろしくお願い致します。

来週8月26日はマレットゴルフ・納涼家族例会です。楽しいアトラクションもありますので多数のご参加をお願い致します。

## ■ 出席報告

会員数33名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者23名  
事前メイク3名 出席率92.86% 前回出席率 修正なし  
(発表 井上修委員)

## ■ クラブフォーラム

### 「会員増強委員会」 講師紹介 矢島宏会員増強委員長

本日はRI第2600地区会員増強委員会 佐藤賢司委員長にお話をいただきます。

佐藤委員長の趣味はダイビング、写真、ソフトボールではハイシニアで全国大会に出場され、最近では伊那市主催の麻雀教室の講師をされるなど多方面にわたって活躍しておられます。

## 卓話 佐藤賢司地区会員増強委員長



演題 「会員増強の現状と課題」

### 1 現 状

- 日本の会員 昨年6月で8万6千人、だんだん減っている。  
2600地区の会員 直近1年間で14名減少  
上伊那地区の会員 直近1年間でプラマイ0、現在173名  
※ 会員3%増加を目標に掲げているが、全く効果が出ていない。

### 2 問題点

- ・ 年会費や入会金が高い(会員資格維持のコスト)
- ・ 例会が平日の昼間行われることが多い(若い人には時間がとれない)
- ・ 従って、年配でお金に余裕がある層のステータスになってしまっている。
- ・ 外国では常設の事務所をもたないことが多い。

### 3 会員増強のヒント

- ・ 退会者を全力で防止しようとする意志や行動が弱い。
- ・ クラブは会長(熱意)に始まり、会長に終わる。
- ・ 懇親の機会を多くして若い人を誘う。

### 4 課 題

今までのようにステータスや社交の場であるならば、会員数は漸減してゆくであろう。このままでゆくの  
か、「奉仕」に重点を置き、維持コストを下げ若くして若い人が入り易くするのか方針を定めなくてはならない時  
期にきている。



## ■ 理事会報告

### 小向誠一幹事



1. マレットゴルフ・納涼家族例会について
2. 年間予定表の変更について

〈予定〉10/14(火)「クラブフォーラム:米山奨学生卓話」

10/28(火)「クラブフォーラム:米山奨学会担当」

〈変更〉10/13(月)~14(火)「分水RCとの友好交流:マレットゴルフ」

10/28(火)「クラブフォーラム:米山奨学会担当と米山奨学生卓話」

### 3. 8月の行事予定とメイクアップ扱いについて

幹事報告をご参照下さい。

### 4. その他

例会取消の時は事務局を休みとする。

中央病院庭に植えた分水RCとの友好桜を観る「さくら例会」を行う。

## ■ 点 鐘

13:30

8月26日(火)

マレットゴルフ 14:00 羽広マレットゴルフ場

納涼家族例会 18:30 海老屋料理店